

第14節 西日本鉄道

1. 事業の概要

西日本鉄道(以下、西鉄)は早期から事業の多角化を推進しており、中でも流通業と物流業への進出が目立つ。流通業では佐賀県と福岡県を中心に「にしてつストア」や「レガネット」等の小売店舗を展開している。物流業では海運とロジティクスの積極的な販売を行っており、成田空港や関西国際空港へのロジティクスセンターを設置や、アメリカや中国、インドなどアジア諸国への現地法人の設立により、事業の国際化を進めている¹。

下の表のとおり、2015(平成27)年3月期の決算報告では、西鉄の営業利益における運輸業への依存度²は21%にとどまっている。

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	利益率 (%)
鉄道	22,400	3,300	14.73
鉄道以外の運輸	61,700	1,200	1.94
不動産	54,800	9,900	18.07
流通	151,000	1,840	1.22
レジャー	37,000	1,400	3.78
その他	46,700	5,00	1.07

図表 2-3-34 にしてつグループの事業別営業収益、営業利益³

¹ 西日本鉄道(2008)『西鉄100年の歩み』

² 西日本鉄道ホームページ「会社概要/事業の概要」
<http://www.nishitetsu.co.jp/group/outline.html>

³ 西日本鉄道「決算説明会資料 2015年度3月期分」
http://www.nishitetsu.co.jp/pdf/ir/briefing/150623_01.pdf

2. 関連事業の沿革

1942(昭和 17)年、当時の戦時統制の下で福岡県を中心に事業を展開していた九州電気軌道、小倉電気軌道、福博電車、筑前参宮鉄道、そして九州鉄道の 5 社が統合され西日本鉄道(以下西鉄)が発足した。それと同時に各社が保有していた鉄道路線とバス路線が西鉄に継承され、西鉄は福岡県における一大交通事業者となった。しかし 1960 年代に入ると、経営基盤である福岡県周辺の炭坑業を中心とした地域経済は、エネルギー革命や、原料立地から消費立地への産業構造の変化の影響を受け、西鉄の運輸業における収益も悪化の兆しを見せ始めた。1965(昭和 40)年には、第一期長期経営計画(65~69)年度をスタートさせ、経営の多角化を推進した。西鉄の経営戦略の特徴に、いち早く経営の多角化を推進し、私鉄各社の中でも運輸業への依存が際立って小さくなっているという点があげられる。

また、福岡天神地区の開発についても、古くから力をいれている。西鉄は 1986 年に「西鉄福岡駅開発基本構想」を発表し、福岡市の「第 6 次福岡市基本計画」(1988 年策定)に沿う形で、基幹路線である大牟田線のターミナル駅、西鉄福岡駅周辺の開発(天神ソラリア計画)をスタートさせた。このプロジェクトは敷地面積 1 万 8,500 m²あまりの土地に、1,200 億円を投じる大型プロジェクトであった。計画は 3 期に渡って進められ、ソラリアプラザビル、ソラリアターミナルビル、ソラリアステージビルが完成した。西鉄福岡駅と西鉄バスのターミナルがソラリアターミナルビルに設置され、また核テナントとしてソラリア西鉄ホテルと福岡三越が入居し、同じく福岡市の中心商業地区である博多地区に対しての競争力が大幅に強化された。

一方で、高度経済成長下で、福岡市の都市機能が向上したことに伴い、福岡市の中心である天神地区と大牟田市を結ぶ大牟田線沿線のベッドタウン化が進展し、大牟田線の輸送力増強を目的とした集中投資が行われた。西鉄は輸送力増強 5 カ年計画を数次にわたって実施し、連続立体交差化や車両の置き換え、駅施設の改装と筑紫車両基地の建設に多額の投資を行った。

3, 沿線人口維持に向けた取り組み

前述のように、早い時期からの事業多角化により福岡都市圏の発展と競争力強化に貢献し、単なる交通事業者ではなく「福岡都市圏のまちづくり企業」として九州財界の一角をなしてきた西鉄であるが、基幹路線の天神大牟田線沿線である筑後地域では過疎化が問題となっている。大牟田市の人口は、昭和 30 年の約 20 万人をピークに減少を続け、平成 23 年には約 12 万人となっている⁴。それと同時に西鉄大牟田駅の利用者数も減少を続け、平成 17 年度の乗降客数が 3,545 人/日であったのに対して、平成 24 年度では 3,096 人/日と、7 年間で約 13%減少している⁵。天神大牟田線におけるその他の主要な駅が位置する自治体の人口統計をまとめたものが図表 2-3-35 である。

福岡市を含む周辺の市町村の人口は 1980(昭和 55)年から 2010(平成 22 年)の 30 年間で大きく増加しているものの、柳川市以南の筑後地域では人口減少が進んでいる、ということが読み取れる。

福岡県南部の筑後地域は全国有数の農業地帯であるが、日本各地の他の農村地帯と同様、深刻な過疎化が進行している。また大牟田市の中心地区は、郊外型ショッピングモールの相次ぐ出店により商業機能の空洞化が進行している。

図表 2-3-36 は、西日本鉄道の現有路線の沿線自治体の人口をもとに、沿線人口の推移をまとめたものである。高齢者の増加、生産年齢人口の減少と、全体としての人口減少が見て取れる。

⁴ 大牟田市「大牟田市統計年鑑」

http://www.city.omuta.lg.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=5&class_set_id=1&class_id=206

⁵ 同上

人口の変化(人)	1980 (昭和 55)年	2010 (平成 22)年	増減(%)
福岡市 【西鉄福岡天神駅】 【薬院駅】	1,088,588	1,463,743	34
春日市 【春日原駅】	64,714	109,426	69
大野城市 【下大利駅】	64,109	95,087	48
筑紫野市 【西鉄二日市駅】	56,840	100,546	77
久留米市 【西鉄久留米駅】	79,698	120,471	51
柳川市 【西鉄柳川駅】	82,185	71,375	▼13
大牟田市 【西鉄大牟田駅】	163,000	123,638	▼24

図表 2-3-35 天神大牟田線主要駅のある自治体の人口推移⁶

このように西日本鉄道の沿線地域ではすでに人口の減少が進行しており、また今後の減少も予測されている一方で、現在のところ西鉄グループは沿線人口を増加させるための直接的な事業を展開していない。この原因として、西鉄グループがその収益の大きな部分を占める流通業や物流業を沿線地域以外の地域に展開させ、さらにグローバル化を推進しているため、沿線人口の減少は鉄道事業やその他の運輸事業により大きく依存している他の鉄道会社と比較すると、西鉄グループの経営に大きな影響を与えない、ということが考えられる。

⁶ 各自治体のホームページを参照し作成した。

0-14 歳人口			15-64 歳人口		
2010 年	2040 年	指数	2010 年	2040 年	指数
268,003	181,977	67.90	1,336,965	993,117	74.28

65 歳以上人口			総人口		
2010 年	2040 年	指数	2010 年	2040 年	指数
405,120	625,011	154.28	2,010,088	1,800,105	89.55

図表 2-3-36 西日本鉄道沿線の将来推計人口構成比⁷

4. 課題と分析

本文中で繰り返し述べてきた通り、西鉄は基幹路線である天神大牟田線沿線の経済が炭坑の衰退等により、比較的早い時期から地盤沈下を始めていたため、首都圏や京阪神の私鉄各企業と比べて事業の多角化を早急に進める必要性に迫られてきたといえる。西鉄の子会社であり、西鉄や西鉄バスの車両製造を行っていた(株)西日本車両が 1970 年 1 月に(株)西鉄産業(現: (株)西鉄建設)へと商号を変更したこと⁸は、西鉄が 1970 年代初頭という早い時期から『脱鉄道』『脱車輪』という経営理念を明確に実行していたことを象徴するものである。西鉄の売上高に占める運輸業の割合はわずか 21%に過ぎず、西鉄は単なる「鉄道会社」ではなく「福岡大都市圏のディベロッパー」であるといえる。

西鉄は今年 3 月 13 日に、JA との合弁企業である「NJ アグリサポート」を設立した。⁹事業内容は天神大牟田線の走る福岡県南部の名産いちご、「博多あまおう」を生産し、同時に後継者育成のための研修も行い、生産されたいちごを西鉄グループの物流網を活用して販売するというものである。西鉄は名目上この事業の目的を福岡県南部の農業人口を回復させること

⁷ 福岡市(中央区・南区・東区・博多区)・春日市・大野城市・太宰府市・筑紫野市・小郡市・久留米市・三潁郡大木町・柳川市・みやま市・大牟田市・三井郡・大刀洗町・朝倉市・糟谷郡・新宮町を対象とした。

⁸ 西日本鉄道(2008)『西鉄 100 年の歩み』p.192

⁹ 西日本鉄道ニュースリリース『西鉄沿線の農業振興を目指して。—西鉄と JA 全農の協同事業—』http://www.nishitetsu.co.jp/release/2014/14_175.pdf

で乗車人員を増加させることと位置づけているが、農業人口の増加が直接乗車人員の増加につながるとは考えにくい。むしろこの事業は、福岡県の地域活性化を目指す事業を、西鉄グループが直接運営してゆくためのステップといえる。

このように、西鉄は事業の新規開拓を進めるとともに、九州財界の一角をなす企業として、福岡大都市圏における地方創生の責任を果たすことが求められるようになってきているといえるだろう。